

# ～子猫をうちに迎えたら～



## ● 混合ワクチン

<初年度 (図1)> **1ヶ月おきに3回** <翌年以降> **1年に1回**

### 【混合ワクチンの必要性】

- 生後1か月半～3か月頃の子猫は、母猫からもらった**初乳の免疫（移行抗体）**が徐々に減り、色々な感染症にかかるリスクが出てくるため、複数回のワクチン接種が必要となります。

### 初年度のワクチン接種について (図1)



### 【ワクチンの種類】

- ★ **コアワクチン** : **猫汎白血球減少症（猫のパルボウイルス感染症）、猫ウイルス性鼻気管炎、猫カリシウイルス感染症**  
すべての猫が接種すべき、猫にとって危険で死の恐れもあるウイルス
- ★ **ノンコアワクチン** : **FeLV(猫白血病ウイルス)**  
任意で接種すべき、生活環境などに応じて感染リスクのあるウイルス

### 【毎年のワクチンの接種を避けたい場合】

- ワクチン抗体価の測定（血液検査）によって抗体価が低い場合にのみ追加接種することもできます。ワクチンアレルギーの既往がある子にもお勧めです。

## ● フィラリア予防

<4-12月> **月に1回**

### 【フィラリア症】

- 成長すると心臓の中で長さ20～30cmにもなる紐状の寄生虫が、蚊によって感染する病気です。感染すると重篤の場合は死に至ることがありますが、1ヶ月に1回の投薬で**確実に予防**することができます。
- 犬の病気と思われる人も多いかもしれませんが、実は**猫への感染**も多数報告されています。



### 【症状】

- 猫が感染すると、重篤な場合は呼吸困難や喘息症状を引き起こし、場合によっては**突然死**することもあります。犬と違い、確定診断が難しく発症すると手遅れになるケースが多くあります。

### 【予防期間】

- 関東地方では、4月から12月までのおよそ9ヶ月間の投薬が必要です。
- 子猫でも、生後2ヶ月齢以降は投薬することをお勧めします。

### 【薬の種類】

- 予防薬の種類はスポット（背中に垂らす）タイプがあります。

## ● ノミ・マダニ・消化管内寄生虫予防

<通年>

月に1回

### 【感染した際の症状】

- ・ 感染すると、皮膚炎（ノミ）やバベシア症・ライム病（マダニ）を引き起こします。
- ・ マダニは **SFTS（重症熱性血小板減少症候群）** というヒトの命の危険性がある感染症を引き起こすウイルスを媒介することもあるため、その予防の重要性が高まっています。

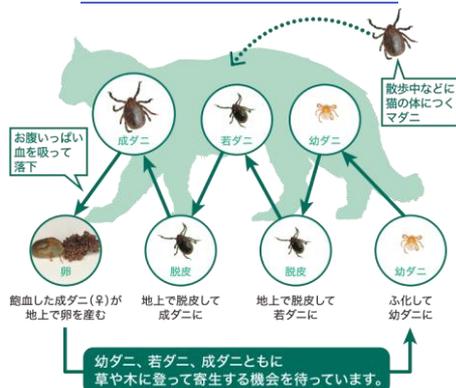
### 【予防期間】

- ・ 特に春先から秋までは活動が活発で寄生するリスクが高まります。
- ・ しかし、寒い時期もノミやマダニは生息する為、**年間を通しての予防**がおすすめです。

### 【薬の種類】

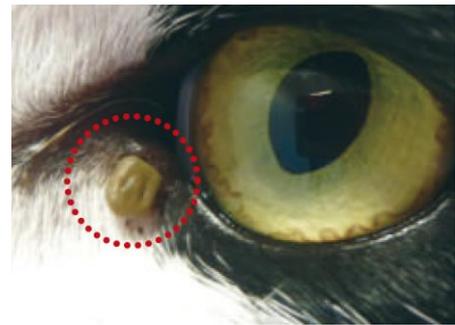
- ・ フィラリアの予防薬と同様にいろいろなタイプの予防薬があります。
- ・ 飲み忘れた月には寄生するリスクがありますので必ず**毎月予防**することが重要です（図2）。

マダニの生活環（図2）



※一回落ちてでもまた付着することがあります。  
(定期的な予防と生活環境の清掃が必要です。)

マダニ付着時の様子



※無理に引っ張ると顎が残り皮膚炎を起こす事があります。(動物病院にご来院ください。)

## ● CAT ドッグ（健康診断）

<初年度>

糞便検査

<翌年以降>

1年に1回

- ・ ペットショップやブリーダーから来た場合、お腹の腸内細菌のバランスが乱れていたり、寄生虫などがいることがあります。まずは糞便検査、また遺伝性の病気や感染症などがいないか身体検査なども含めて病院でしっかり受けることを推奨します。

### 【猫の老化速度】

- ・ 猫の成長はとても早く、猫の1歳は人間のおよそ15歳、その後の成長は1年ごとに4歳ずつ年をとっていきと言われています。
- ・ 1年に1回の健診でも人間に置き換えると、**4-7年に1回**ということになります。

※見えない場所で進行する病気や自覚症状の無い病気などもあるため、健康診断を定期的に行い、予防や早期発見に努めることが大切です。

## ● 避妊手術（女の子）・去勢手術（男の子）

### 【女の子】

- ・ 中高年期（6歳頃）を過ぎるとホルモンのバランスの影響で色々な病気を発症するリスクがあります。
- ・ 乳腺腫瘍の9割が悪性と言われていますが、1歳までの避妊手術で大幅にその発生率を下げるすることができます（図3）。

※手術推奨時期：1歳まで

### 【男の子】

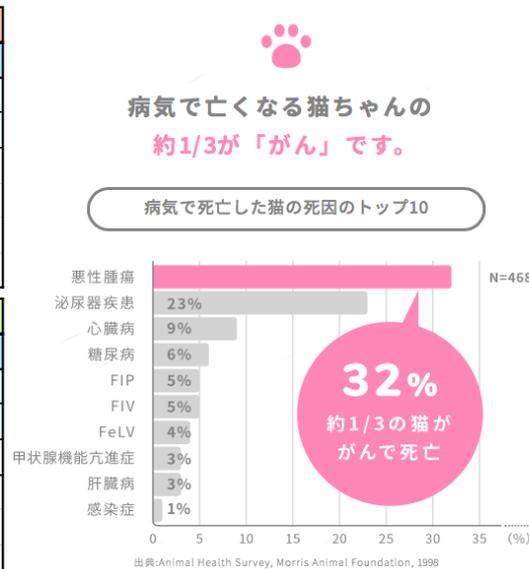
- ・ 攻撃的な性格や尿マーキングなどの問題行動を減らすこともあります（手術しても変わらない場合があります）。
- ・ 停留睪丸の場合には腫瘍化するリスクが高いので手術をお勧めします。

### 猫の避妊手術/去勢手術のメリット・デメリット（図3）

避妊手術	
メリット	デメリット
★乳腺腫瘍の予防★	★肥満★
★子宮蓄膿症の予防★	麻酔のリスク
発情出血 それに伴う体調不良からの回避	
望まない妊娠を避ける	

去勢手術	
メリット	デメリット
前立腺肥大の予防	★肥満★
会陰ヘルニアの予防	麻酔のリスク
肛門周囲腺腫の予防	
精巣腫瘍の予防	
マーキング（スプレー行為）の軽減	
攻撃的な性格や行動の軽減	



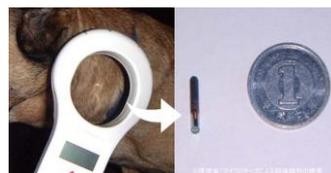
### 【手術を希望される場合】

- ・ 手術前検査としては胸部レントゲン検査や血液検査が必要になります。
- ・ 麻酔のリスクは伴う為、ご家族でしっかりご相談ください。

## ● マイクロチップ

### 【マイクロチップとは】

- ・ 世界で唯一の番号が記録され、大切なペットを守る身元証明の役割をしてくれます。
- ・ 名前や生年月日、飼い主様のご連絡先などの情報を世界のどこにいても確認できるようになっています。
- ・ 具体的には迷子、盗難、逃亡、災害、事故など不慮の事態に陥ったときに役立ちます。
- ・ 外れてしまうかもしれない首輪や鑑札ではなく皮下に装填可能であることが、マイクロチップの大きな特徴です。



※長さ約 11～13.5mm × 直径約 2mm の細長いカプセル状  
 ※カプセルは生体適合ガラスなど拒絶反応を起こさない素材でできており、  
 装填によってアレルギーなどの副反応が起こることは非常にまれです。

### 【マイクロチップ装着の義務化】

- ・ ペットが入国・出国する場合は、検疫制度によりマイクロチップの装填が義務づけられています。
- ・ 2019年6月に改正動物愛護法が成立したことによって、ペットショップなどで販売される犬・猫へのマイクロチップの装着が義務化され、一般の飼い主さんに対しては努力義務となりました。